

子ども樹木博士認定試験 実施報告書

- 1、開催日時 ・平成29年8月3日 8:40 (集合～11:45 解散)
- 2、開催場所 ・磐田市 竜洋昆虫観察公園 (西ゾーンと園内の一部)
- 3、応募参加者 ・予定25名 応募者21名 前日キャンセル1家族2名
実施、子ども11名 大人8名の合計19名
- 4、参加会員 ・内野、大石、杉山、小久保 幹事内山、藤田、主担当廣野
- 5、実施状況

1) 計画

募集が最大の問題である。このため、6月初旬に今回は幹事の内山さんが主導する「いわた笑楽未来塾」の塾生に声をかけるために、塾生の近くで参加しやすい候補地2か所を抽出し、樹種の確認をした結果、当昆虫観察公園を選定した。以後下見、DMの発送、新聞社への投げ込み、資料作成等々試験日までの計画を立てる。

2) 下見

7月2日に下見を実施、参加会員プラス高橋さんを入れて候補35種を中心に下見を行い結果として3種を新たに選び、8種を削除し計30種を選定した。

3) 応募状況

ホームページ1家族2名 (子ども発熱のためキャンセル) 内山塾生5家族13名
廣野ロコミ3家族6名 DMはゼロ、新聞には掲載されずゼロ

4) 実施の概況

◆観察

3班に分け (各7名 子ども4、大人3) 1班、内野 藤田 (先導) (キャンセルのため5名) 2班、杉山、大石 (救護)、3班、小久保、内山 (枝葉採取)、それぞれの役割をお願いして30種を観察する。予定通り9:00スタート、10:20終了

◆試験

枝葉の配置終了後、5分間の予習を経て、30分間の試験を開始する。

◆試験結果と証書の授与

子どもの平均点21.8点 満点2名 結果を発表し、杉山理事長代理より証書を授与
大人平均点28.6点 満点4名 班長さんより直接手渡す。

5) 実施所感

◆1班 内野会員

1班は1家族キャンセルがあり大人2名子ども3名の2家族でしたので密度の濃い説明ができました。コースも短めで説明する樹木も次から次へと連続しておりスムーズに案内できたので、アカメガシワでは全員で葉の新芽の赤い部分を爪で強くこすり鮮やかな緑が赤い毛の下に隠れていることを確認してもらいました、新鮮な驚きだったようです。また、同じ樹木が連続して植えられていることが多く、同行してくれた藤田さんが絶妙のタイミングで

復習してくれ、繰り返し繰り返しの連続で刷り込まれたことと確信します。大人2名が、2人とも満点を取り素晴らしい笑顔を見せてくれました。子どもさんも表彰では晴れ晴れとした笑顔で堂々と胸を張っている姿に心から拍手をいたしました。

◆ 2班 杉山会員

2班は、大人3人と小1から小4の子ども4人のグループでした。30種の樹木には、丁度ドングリをつけていたり果実をつけているものも結構あったので理解はし易かったと思います。説明資料を中心に解説しましたが、食べておいしい樹木の花やサクラでは葉柄の蜜腺の役割、薬になる樹木など印象に残りそうな話も交えて説明しました。歩行距離が短かったので、意外にか解説に時間が割け、ホウノキの葉でお面を作って遊ぶ余裕もありました。

◆ 3班 小久保会員

3班は祖父母世代に当たるご高齢の大人が3人、小学生4人の班でした。今回は樹木観察の工程もコンパクトで入念な準備もされていたので、30種の樹木を回って解説してゆく上で十分な時間を取ることができました。子ども達の中で特に高学年の子は真面目に覚えようという態度で臨んでおり、順路を先回りして標本木とテキストを見比べたりしていました。実際にその後のテストでは満点を獲得、その努力の甲斐を感じてくれたものと思います。一方低学年の子供たちは遊び盛りということもあり、他のものに気を取られたりしてやや散漫になりがちでしたが、それでも皆説明で聞いたことをメモに取ったりする姿が見られました。テストでは「う～ん・・・」と言いながら、最初のうちは解答用紙の空白が目立っていました。しかし周りからヒントを貰いながら、最後まで粘って少しずつ思い出し、結局皆「2段」を獲得し嬉しそうな顔をしていました。一方で今回の大人の方々は植物についてもよくご存知で、個々の樹木の解説についてももしっかり耳を傾け、得心がいった部分にうなずいたりしておられました。それぞれに高得点を取られ、久しぶりであろう「試験勉強」の成果を味わわれたものと思います。

◆ 主担当廣野

冒頭でも話しましたが、このイベントは普通の募集では集まらない。全国の状況を見ても漸減傾向にあり、募集の克服が一番の課題です。興味のある子どもには大変面白いプログラムであるが、興味のない子には動く昆虫や物づくりの方がよほど面白い。したがって、子どもにもアプローチしても難しい。今回「内山塾」の塾生が多数参加してくれて一つの方向が示されたように思われます。親御さんへの丁寧な働きかけが大切なように思われます。

「親子が同じ説明を聞き、同じ問題に答える」この方式は親子の会話の促進や子どもの成長を実感できる、他には類のないプログラムだと思います。今後も息長く続けていきたいものです。

6) 試験結果詳細

No.	樹木名	正解数	正解率
1	クロガネモチ	19	100
2	コナラ	19	100
3	アキニレ	15	79
4	カツラ	17	89
5	ヤツデ	16	84
6	クヌギ	17	89
7	サンゴジュ	18	95
8	ウバメガシ	11	58
9	ハリエンジュ	11	58
10	クスノキ	13	68
11	カシワ	18	95
12	ハウノキ	17	89
13	イチョウ	19	100
14	シイノキ	15	100
15	アカメガシワ	13	68

No.	樹木名	正解数	正解率
16	マテバシイ	14	74
17	クロマツ	18	95
18	イヌマキ	14	74
19	ミカン	19	100
20	センダン	13	68
21	サクラ	19	100
22	カキ	17	89
23	ハギ	11	58
24	ヤブツバキ	16	84
25	サルスベリ	14	74
26	オオモミジ	18	95
27	ネムノキ	15	79
28	イヌビワ	15	79
29	エノキ	14	74
30	ケヤキ	14	74

正解率100%は クロガネモチ、コナラ、イチョウ、シイノキ、ミカン、サクラ
 60%未満 ウバメガシ、ハリエンジュ、ハギ

取得段位人数

子ども 3段2人 2段4人 初段5人
 大人 3段4人 2段4人

廣野淳三（主幹事）記

観察、試験状況写真

出発前状況

受付を済ませた後、会式、理事長代理挨拶 班分け、



この後、準備運動をして出発。 9:00

1 班の説明状況

皆さん真剣に聞き入っていた



2 班の説明状況

目つきも真剣そのもの、



3 班の説明状況

ちゃんとメモしている。説明にも熱が入る。



試験状況 1



試験状況 2

会場は適当な広さでした。



表彰

みんなで拍手

